

令和 2 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者		
教 科	数学		科 目	数学 I (2 単位)
対 象	1 学年			
教 科 書	『高校数学 I』(教科書番号等 7 実教数 I 3 0 6)			
補助教材その他	『進路マップ マナトレ 数学【基礎編】』(ベネッセコーポレーション)			
目 標	数学 I の基礎的・基本的な知識の確実な習得を目標とする。主体的に学習に取り組む態度を育成する。基本的な知識を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。			
学期	時間	単 元	内 容	
1	1 4	○数と式	家庭学習① (小学校の基礎計算) の到達度確認と復習 家庭学習② (中学校の基礎計算) の到達度確認と復習	
	1 4	○数と式	文字式のきまり 整式の乗法	整式の加法・減法 乗法公式による展開
2	1 4	○数と式	乗法公式による展開 因数分解	
	1 4	○数と式	平方根とその計算 実数	
3	1 4	○数と式	1 次方程式 1 次不等式 (連立不等式も含む)	

評 価	<p>【観点・評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整数の四則演算ができるようになる。 整式の加法・減法ができるようになる。 整式の乗法および乗法公式による展開ができるようになる。 乗法公式による展開および因数分解ができるようになる。 平方根の計算ができるようになる。 1 次方程式、1 次不等式 (連立不等式) の解を求められるようになる。
	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出席状況、授業・課題への取り組み状況、定期考査等から総合的に判断する。 今年度に関しては、定期考査に家庭学習の内容に関連した問題を加えることとする。

令和 2 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	数学	科 目	数学 I (2 単位)
対 象	2 学年		
教 科 書	『高校数学 I』(教科書番号等 7 実教数 I 3 0 6)		
補助教材その他	『進路マップ マナトレ 数学【基礎編】』(ベネッセコーポレーション)		
目 標	数学 I の基礎的・基本的な知識の確実な習得。主体的に学習に取り組む態度を育成する。基本的な知識を活用して、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	○数と式	家庭学習① (小学校の基礎計算) の到達度確認と復習 家庭学習② (中学校の基礎計算) の到達度確認と復習
		○数と式	1 次方程式 1 次不等式 (連立不等式も含む) 平方根とその計算 実数
	1 4	○2 次関数	1 次関数とそのグラフ 2 次関数とそのグラフ (平方完成あり) 2 次関数とその最大値・最小値
2	1 4	○三角比	三角比 三角比の利用 三角比の相互関係
	1 4	○三角比	鈍角の三角比 図形への応用
3	1 4	○集合と論証	集合と要素 逆・裏・対偶

評 価	<p>【観点・評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小数・分数の四則演算ができるようになる。 ・ 平方完成を利用して、2 次関数のグラフがかけるようになる。 ・ 主な角度の三角比の値が求められるようになる。三角比の相互関係を正しく理解し、図形への利用ができるようになる。 ・ 集合に含まれる要素の個数を求めたり、ある命題の逆・裏・対偶を答え、真偽を考えたりすることができるようになる。
	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席状況、授業・課題への取り組み状況、定期考査等から総合的に判断する。 ・ 今年度に関しては、定期考査に家庭学習の内容に関連した問題を加えることとする。

令和 2 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	数学	科 目	数学活用 (2 単位)
対 象	3 学年		
教 科 書	『数学活用』(教科書番号等 7 実教数活 3 0 1)		
補助教材その他	『授業プリント』(授業者作成)		
目 標	数学活用の学習を通して、数学の基礎的、基本的知識を確実に習得する。また、主体的に学習に取り組む態度を育成する。習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	○ 身の回りの数学	家庭学習① (小学校の基礎計算) の到達度確認と復習 家庭学習② (中学校の基礎計算) の到達度確認と復習
	1 4	○ 身の回りの数学	身の回りの図形 (中学校で学んだ図形についての分野全般について総復習)
2	1 4	○ 身の回りの数学	作図・多面体の性質
	1 4	○ 社会生活と数学 ○ 社会生活と数学	コンピュータと 2 進法 データの読み取りと標本調査
3	1 4	○ 数学の発展と人間の活動	数と人間

評 価	<p>【観点・評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで学んできたことを総復習し、それを活用した新たな数学的活動に取り組むことで、数学の楽しさに触れる。 身の回りのいろいろなところで数学が関係していることを、授業から学習した内容を通して理解する。 調べ学習・アクティブラーニングを取り入れる。 さまざまなデータの特徴を捉え、資料を整理できるようにする。
	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出席状況、授業・課題への取り組み状況、定期考査等から総合的に判断する。 今年度に関しては、定期考査に家庭学習の内容に関連した問題を加えることとする。

令和 2 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	数学	科 目	数学活用 (2 単位)
対 象	4 学年		
教 科 書	『数学活用』(教科書番号等 7 実教数活 3 0 1)		
補助教材その他	『授業プリント』(授業者作成)		
目 標	数学活用の学習を通して、数学の基礎的、基本的知識を確実に習得する。また、主体的に学習に取り組む態度を育成する。習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	○ 身の回りの数学	家庭学習① (小学校の基礎計算) の到達度確認と復習 家庭学習② (中学校の基礎計算) の到達度確認と復習
	1 4	○ 身の回りの数学	身の回りの図形 (中学校で学んだ図形についての分野全般について総復習)
2	1 4	○ 身の回りの数学	作図・多面体の性質
	1 4	○ 社会生活と数学 ○ 社会生活と数学	コンピュータと 2 進法 データの読み取りと標本調査
3	1 4	○ 数学の発展と人間の活動	数と人間

評 価	<p>【観点・評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今まで学んできたことを総復習し、それを活用した新たな数学的活動に取り組むことで、数学の楽しさに触れる。 身の回りのいろいろなところで数学が関係していることを、授業から学習した内容を通して理解する。 調べ学習・アクティブラーニングを取り入れる。 さまざまなデータの特徴を捉え、資料を整理できるようにする。
	<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出席状況、授業・課題への取り組み状況、定期考査等から総合的に判断する。 今年度に関しては、定期考査に家庭学習の内容に関連した問題を加えることとする。

令和 2 年度年間授業計画

東京都立第三商業高等学校 定時制

		担 当 者	
教 科	数学	科 目	数学活用 (2 単位)
対 象	4 学年の総合選択の選択者		
教 科 書	『数学活用』(教科書番号等 7 実教数活 3 0 1)		
補助教材その他	『数学検定問題集』(個人のレベルに応じて、貸し出します。)		
目 標	数学活用の学習を通して、数学の基礎的、基本的知識を確実に習得する。また、主体的に学習に取り組む態度を育成する。習得した知識を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成する。		
学期	時間	単 元	内 容
1	1 4	(年間通じて、個別対応) ○ 計算演習	(年間通じて、個別対応)
	1 2		四則演算 (整数・分数・小数を網羅する)
2	1 4	○ 図形の問題 ○ 文章題 等	図形の基本性質 (三角形・四角形・その他多角形・立体
	1 4		図形の性質)
3	6		与えられた条件を読み取り、数学的に考える力の育成

評 価	<p>【観点・評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な四則演算ができるようになる。 図形の特有の考え方をを用いて、基本性質を捉えることができるようになる。 文章題の問題から、問題の意図することを読み取り、問題を解くことができるようになる。
	<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業・課題への取り組み状況、定期考査等から総合的に判断する。 尚、定期考査は考査期間の直前の授業の時間に行う。考査問題は個別で対応する。</p>